

## 「環境アクションボードゲーム」を開発

近畿大学附属豊岡高等学校自然科学部 代表 <sup>つぐらかなる</sup> 津倉果成さん



大会に参加したメンバー

昨年12月、エネルギー問題をテーマとした「ファースト・レゴ・リーグ」に参加しました。「エネルギー問題は、必ずその背景に環境問題が隠れている。個人レベルでの行動を変えることが、問題解決への一助につながる」と考え、自分たちで開発した「環境アクションボードゲーム」を大会で発表しました。このゲームはすごろく式で、サイコロを振って、進んだマスに対応したカードをとってエネルギーポイントを集めるルールです。カードには「公共交通機関を使う」「地産地消に心がける」などの具体的な行動と、その行動をすることによりエネルギー以外に環境、CO<sub>2</sub>削減、お金に関する影響度を数値化して表記しています。その理由は、競技とは別に話し合いの中で、エネルギーに関わることはCO<sub>2</sub>や環境問題、コストにも密接に関係していることを知ってもらいたいと考えたからです。多くの方が、このゲームを体験し、環境問題を自分ごとと捉え、行動を変えてくれることを期待しています。



ゲームで使用するカード

## 今日からできる私のエコな取組み

次世代に安心して暮らせる地球環境を残すために、私たちにできることから取り組んでみましょう

### 【できる①】 3キリ運動

買った食材を「使い切り」、無駄にせず「食べ切り」、生ごみを減らすための「水切り」を行うことで、食品ロス問題への対策とごみ焼却時のCO<sub>2</sub>削減に繋がります。買い物をする前に、冷蔵庫の中身を確認して必要な食材だけを購入しましょう。



### 【できる②】 「地産地消」と「旬菜旬消」

地域で生産したものを消費する「地産地消」は、食材運搬時に発生するCO<sub>2</sub>を削減します。ハウス栽培より生産段階でのCO<sub>2</sub>排出量が少ない露地栽培の農産物等を旬の時期に消費する「旬菜旬消」も環境負荷の低減に繋がります。



### 【できる③】 マイバッグ・マイボトルの活用

既に多くの方が取り組んでいるマイバッグ・マイボトルの活用は、使い捨てプラスチック製品の製造、運搬、焼却時のCO<sub>2</sub>削減に貢献し、マイクロプラスチックの発生抑制にも繋がります。まだ持っていない方は、お気に入りのマイバッグ・マイボトルを見つけて持ち歩きましょう。



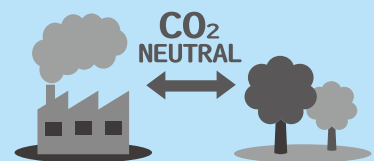
### 【できる④】 ノーマイカーデーへの参加

近い場所に徒歩や自転車で移動することは、CO<sub>2</sub>削減になり健康的な生活にも繋がります。市では、毎月第2水曜日、第4金曜日を「豊岡ノーマイカーデー」としています。バスや電車等の公共交通機関を通勤や通学、普段のお出掛けでも利用してみませんか。



## 毎日できるゼロカーボンアクションを紹介

ゼロカーボンを実現するには、一人一人の生活スタイルを脱炭素型へ転換していくことが重要です。日々の暮らしの中で、毎日手軽にできるアクションを紹介します。



- クールビズ・ウォームビズ
- 食材の買い物や保存等での食品ロス削減の工夫
- 今持っている服を長く大切に着的る
- 節電
- 旬の食材、地元の食材でつくった菜食を取り入れた健康な食生活
- 使い捨てプラスチックの使用をなるべく減らす
- 節水
- ごみの分別処理
- 食事を食べ残さない

※本紙に掲載している情報は編集時点(5月16日)のもので、変更になっている場合がありますので、注意してください。

## 6月は「環境月間」

## 高校生が実践する「環境アクション」

6月は「環境月間」です。

市内の高校生が、持続可能な社会の実現に向けて「環境アクション」に取り組んでいます。身の回りの環境問題を自分ごととして考え、高校生として「私たちにできることは何か」を議論し実践しています。

環境を考えるこの機会に、高校生が実践する「環境アクション」や、私たちが今すぐできる「ゼロカーボンアクション30」などについて紹介します。《問合せ》コウノトリ共生課脱炭素推進室 ☎21-9136

## 学校の枠を超え、高校生が環境啓発活動を展開

豊岡市内の高校生サークル「MixES（ミクシーズ）」 代表 岡村都亜<sup>とあ</sup>さん



「MixES」は、同じ高校生の世代が環境問題を考える機会を持ちたいとの思いから、昨年立ち上げたサークルです。市内の6つの高校から24人が参加。テスト期間を避けて月2回ミーティングを開催して、環境問題やまちづくりなどに関する活動を展開しています。4月15日には、菓子祭前日祭に出展し、環境啓発活動を行いました。出店する店舗を事前に調べ、SDGsに取り組む店舗に認証マークを配布しました。また、来場者にプラごみ削減の啓発やごみに関するクイズの出題などを行い、簡単にできる環境アクションをたくさん紹介しました。今後も仲間との情報交換や議論を重ねながら、地域イベントへの参加、ごみ拾いの活動などを通して、地域にいい影響を与える活動に取り組んでいきます。



菓子祭前日祭でSDGsをパネルで紹介

## 竹野海岸で定期的に漂着ごみの回収作業

豊岡総合高等学校インターアクトクラブ



昨年開催したプラスチックごみ削減キックオフイベントで活動発表するクラブメンバー

インターアクトクラブでは、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。環境保全活動としては、海岸漂着物の回収を毎年実施しています。11回目となった回収作業を3月21日、竹野海岸で行いました。当日は、市内外に呼び掛け、総勢270人が参加しました。ペットボトルや発泡スチロール、漁具の浮きなど、15㎡もの漂着ごみを回収しました。ごみの回収はもちろんですが、漂着ごみ問題の現状を多くの方に知ってもらい「まずは出さない」という意識を持ってもらうことも、活動目的の一つです。今後も清掃活動を予定していますので、皆さんも、ぜひ、参加してください。



市内外の人に呼び掛けて実施した漂着ごみの回収作業

## できることから始めてみよう「ゼロカーボンアクション30」

環境省は、私たちが日常生活の中に取り入れられる脱炭素行動を「ゼロカーボンアクション30」として紹介しています。具体的にどんなアクションがあるのかを確認し、簡単に始められることから取り組んでみてください。



ゼロカーボンアクション30 ▶



市の脱炭素化の取組みについては、市ホームページで確認してください ▶

